2021

お申し込みは組合経由で!



胆振地方中東部 M6.7

宮城県沖 M7.2

福島県 M7.0

茨城県北部

M6.3

過去の地震

▶ 東日本大震災以降に起こった

→ 最大震度6以上の地震

※近接地域の地震は最もMの大きい地震を表記

根室沖から色丹島沖

および択捉島沖

M8程度 Ⅲランク

M8程度 Ⅱランク

1843年:根室沖

1894年:根室沖

1952年;十勝沖

1973年:根室沖

2003年:十勝沖

8cm/年 太平洋プレート

青森県東方沖から

岩手県沖南部

M7.0~7.9程度IIIランク

宮城県沖

M7.0~7.5程度 Ⅲランク M7.9程度 Ⅱランク

福島県沖から茨城県沖

M7.0~7.5程度 Ⅲランク

青森県東方沖から

房総沖の海溝寄り

M8.6~9程度 Ⅲランク

東北地方太平洋沖型の過去の地震例

2011年:東北地方太平洋沖地震 (東日本大窒災)

1/世紀:十勝冲かり根至冲

北米プレート

「東日本大震災」から10年。

今一度、防災を考えてみる。

東日本大震災 M9.0

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による災害および、これに伴う福島第一原発事故による災害

死者 2万2,000人

倒壊•焼失棟数 12万1,700棟

直接被害額 16.9兆円

首都直下地震 M7.3と想定

東京都周辺の首都圏に最大級の被害をもたらす可能性のある マグニチュード7クラスの大地震 今後30年以内に70%の確率で起こるとされています。

> 死者 2万3,000人



倒壊·烷失棟数 61万棟 5.0 ………▶東日本大震災の

直接被害額 47.4兆円 2.8

南海トラフ巨大地震 M9.1と想定

日本列島の太平洋沖「南海トラフ」沿いの広い震源域で連動して起こ ると警戒されているマグニチュード9クラスの巨大地震 発生確率は不明とされています。

> 死者 32万3,000人 ……… 東日本大震災の

被害 倒壊・焼失棟数 238万6,000人

………▶東日本大震災の

直接被害額169.5兆円

………▶東日本大震災の

出典:内閣府・国土庁の資料をもとにUAゼンセン作成

今日からでもできる「備え」を考えてみましょう。

●住宅あんしん共済への加入で地震への備えを。

民間の 火災保険との違いを 確認してみましょう。

民間損保の地震保険料は

2017年1月 2019年1月 2021年1月 まで UP

保険料の地域間格差が激しく

―分かりにくい。―

住宅あんしん共済は 2017年に

しかも

掛金の一部 DOWN!

全国一律掛金

―なので、分かりやすい。―

●基本+自然災害特約で、地震の保障を厚くしてみましょう。



50口加入した場合の 最高給付額 (完全耐火住宅)

地震損壊

地震火災

掛金は たったの

年間 27,500円

活断層の地震

海洋プレートの動きにより大陸プレート内に

●主な活断層(凡例) ※ランクの算定基準日は2021年1月1日

※いずれのランクも、すぐに地震が起こることが否定できない 次の①~⑪は、Sランクの断層帯となります。(※22は参考)

名称	地震の規模		名称	地震の規模	
サロベツ断層帯	M7.6程度			主部:武山断層帯	M6.6 程度 もしくはそれ以上
黒松内低地断層帯 庄内平野東縁 断層帯	南部	程度以上 M6.9程度	16 三浦半島断層群	主部:衣笠 •北武断層帯	M6.7程度 もしくはそれ以上
新庄盆地断層帯	東部	M7.1程度	10 塩沢断層帯	M6.8程度以上	
山形盆地断層帯	北部	M7.3程度	18 富士川河口断層帯	M8.0程度	
櫛形山脈断層帯		8程度	19 奈良盆地東縁断層帯	M7.4程度	
高田平野断層帯	高田平野 東縁断層帯	M7.2程度	20 上町断層帯	M7.5程度	
			② 琵琶湖西岸断層帯	北部	M7.1程度
十日町断層帯	西部	M7.4程度	22 中央構造線断層帯	石鎚山脈北縁西部	M7.5程度
砺波平野断層帯· 呉羽山断層帯	砺波平野断層帯東部	M7.0程度	23 安芸灘断層帯	M7.2程度	
	呉羽山断層帯	M7.2程度	24 宍道(鹿島)断層	M7.0程度 もしくはそれ以上	
森本•富樫断層帯	M7.2程度		25 弥栄断層	M7.7 程度	
高山·大原断層帯	国府断層帯	M7.2程度	26 菊川断層帯	中部	M7.6程度
糸魚川一静岡 構造線断層帯	北部	M7.7程度	勿 周防灘断層帯	主部	M7.6程度
	中北部	M7.6程度	23 福智山断層帯	M7.2程度	
	中南部	M7.4程度	29 警固断層帯	南東部	M7.2程度
境峠•神谷断層帯	1 1 1 2 2 1		③ 雲仙断層群	南西部:北部	M7.3程度
	主部	M7.6程度		八代海区間	M7.3程度
阿寺断層帯	主部:北部	M6.9程度		日奈久区間	M7.5程度
木兽山脈而縁					

海溝型の地震

海洋プレートが大陸プレートの 下に潜り込み歪が蓄積。その歪に 耐えられず境界部分が跳ね上が

●このタイプの地震…関東大震災、 東日本大震災、現在心配されている 南海トラフ巨大地震など



●主な海溝(凡例) ※ランクの算定基準日は2021年1月1日 Ⅲランク(高い):30年以内の地震発生確率が26%以上

Ⅱ ランク(やや高い):30年以内の地震発生確率が3~26%未満 I ランク:30年以内の地震発生確率が3%未満

Xランク: 地震発生確率が不明(過去の地震のデータが少ないため確率の評価が困難) ※いずれのランクも、すぐに地震が起こることが否定できない。

鳥取県中部 ユーラシア M6.6 大阪北部地震 **M6.1** プレート 淡路島付近 M6.3 熊本地震 M7.3

南海トラフ M8~9程度 Ⅲランク

南海トラフの過去の地震例

1854年:安政南海地震

1944年:昭和東南海地震 1946年:昭和南海地震

1361年:正平東海地震 1361年:正平南海地震 1293年:永仁地震 1498年:明応地震 1703年:元禄地震 1605年:慶長地震 1707年;宝永地震 1854年:安政東海地宦

新潟県中越

長野県北部

M6.7

相模トラフ(M8)の過去の地震例

相模トラフ(M8程度)

M7.9~8.6程度 Ⅱランク

1923年:大正地震(関東大震災)

3~5cm/年

フィリピン海

プレート

その他の南関東の地震 M6.7~7.3程度 Ⅲランク

その他の南関東の過去の地震例

18世紀終わりから現在までに9回 く代表的な地震> 1855年:安政江戸地震 1894年:明治東京地震

(※)詳細内容については、地震調査研究推進本部 HP (http://www.jishin.go.jp/)、内閣府防災情報 HP <mark>(</mark>http://www.bousai.go.jp/)をご参照ください。